

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児デイサービスセンター あゆみの里					公表日	令和7年 11月 7日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	ホール、個室、庭など一人一人の様子に応じて過ごすことができる場所があるので、落ち着いて過ごすことができます。	利用人数に限らず、その日の子どもの様子で複数のスペースが必要な場合は職員間で確認をとり、適切な支援ができるように努めています。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	始業時のミーティングで体制、子どもへの配慮を話し合い、配置を考えています。	配置基準は満たしていますが、その日の子どもの様子によっては個別対応が必要で、職員が不足しているように感じる場合があります。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	全室バリアフリーで、廊下には手すりを設置しています。刺激になるものが目に触れないような環境作りに努めています。	写真提示など視覚的に情報伝達を行い、子どもたちが活動しやすい環境づくりに努めています。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日清掃を実施し清潔な環境を維持します。感染症防止の対策で嘔吐処理の実践研修に参加し、適切な対応ができるよう心掛けています。	引き続き、清潔で快適な生活空間を提供できるよう努めています。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	休憩や集中して個別課題の取り組むために個室を利用する事ができます。	子どものサインを見逃さず、クールダウンできる環境が必要かどうか、本人の同意、支援者の配慮で安心・安全に使用できるように努めています。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	職員会議（月1回）で話し合う機会を設けています。必要があれば会議以外でも話をする時間を設けています。	業務目標・資質向上目標、個人目標を設定し、必要に応じて見直しを行います。全職員への周知に努めます。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	評価表の結果について職員で話し合い、意識して業務するよう心掛けています。	評価表の結果のみならず、隨時ご要望に対しての対応を職員間で話し合う場を設けることに努めています。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	月に1回職員会議を行っています。毎日、始業前の打ち合わせで意見交換しています。	引き続き、職員間で意見交換する場を持ち、業務改善に努めています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者による外間評価は行っていませんが、法人内で各部署担当者参加の会議を行っています（月1回）	引き続き、事業部担当者会議等で報告、話し合いを通して業務改善に繋げるよう努めています。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修、内部研修、リモート研修などすべての職員が受けられるようにしています。事業所内で研修報告（職員会議、報告書の回覧）を行い、内容を共有しています。	引き続き、研修に参加し職員の資質の向上を図り、よりよい支援に繋げるよう努めています。		

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	支援方針に基づき、4つの基本活動から結びつけた『ねらい（5領域）』を組み入れた支援プログラムを作成しています。	引き続きホームページで公表するだけでなく、掲示を行い周知できるよう努めています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	こどもの様子、こども・保護者の方のニーズから支援目標、内容を考え個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	ひとりひとりの状況を考慮し、必要な支援を職員間で話し合い、個別支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員会議で個別支援計画書を基に中間、終了評価を行い、支援の振り返りを行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	学校、専門機関と保護者の承諾のもと、情報共有し助言を受けながら対応しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	項目ごとに設定することで支援内容が具体化され、職員が適切な支援を行うことができるよう努めています。全体的な目的をひとりひとりの状況に応じて照らし合わせ、支援内容を考えています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員会議の中で、中間、終了評価を行い、立案の参考にしています。	引き続き、職員間でこどもの状況に合った活動プログラムを提供できるように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	こどもによっては固定化がいい場合もあるので、ひとりひとりの状況に応じてプログラムを考えています。	引き続き、こどもの状況に応じた活動プログラム立案に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別に中間、終了評価を行い、ひとりひとりの状況に配慮した活動を組み入れた計画を作成しています。	引き続き、集団、個別活動を適宜組み合わせて、こどもの状況に応じた支援計画を作成し、支援するように努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	子どもの様子について事前に職員間で共有し、配慮して支援を行っています。打ち合わせに参加できない職員も情報を共有できるよう、閲覧できる記録用紙を準備しています。	引き続き職員間の情報共有に努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	当日の振り返りが難しい時は、翌日の始業前に打ち合わせを行っています。記録用紙を閲覧し、全職員への周知に努めています。	引き続き職員間の情報共有に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	保護者への連絡帳や個人記録に毎日記入しています。個人記録をもとに職員会議で話し合い、計画を作成し支援に繋げています。	引き続き、記録に努め、支援の検証・改善に努めます。

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	年に2回計画の見直しを行っています。モニタリング時以外でも、子どもの様子や保護者の方のご要望に応じて、必要な時は見直しを行っています。	引き続き、日々の記録をもとにモニタリングを行い、子ども・保護者の方のニーズに応じた計画の作成に努めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	1	職員全員がいつでもガイドラインを閲覧できるようにしています。	職員会議で学習会を行い、ガイドラインの周知に努めます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもの行動に対して支援者が先走ることなく、待つことを意識して支援を行うよう心掛けています。	見守りの支援を基本に子どもからの働きかけを待つよう意識していきます。ひとりひとりのタイミング、リズムを大切にした誘いかけに努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。状況報告書や電話で相談事業所に情報提供しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要に応じて、電話連絡、ケース会議、見学を通して情報共有し、相互理解に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校から年間計画・行事予定、下校時刻表をいただき、情報を把握しています。緊急時やトラブルが発生した時は電話で連絡調整を行います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	相談事業所を通したり、直接電話連絡をして情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	必要時には状況提供書を作成し、相談事業所を通して情報提供を行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	相談事業所、学校を通じて会議や研修に参加し助言をいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	4	ひとりひとりの状況を考慮し、参加の仕方を考えています。事業所間交流は今後も続けていきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	担当者が出席し、報告を受けています。	報告内容により、全員周知が必要な場合は職員会議で伝えています。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	1	お迎えの時間や連絡帳を活用し情報共有を行っています。ご希望がある場合は面談の機会を設けております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援ブログ（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	集団では実施しておりませんが、個別に困りごとのご相談を受け、ご家庭でできる事をお伝えしています。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	お迎え時や会議の場で説明させていただいている。変更があった場合はご説明の後、ご署名をいただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	会議に参加し、保護者の方、関係機関との共通理解のもと、個別支援計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	説明をさせていただき、ご署名を通じて同意をいただいております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	個別支援会議以外の場でも、面談や電話でのご相談を受け付けております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	それぞれのご家庭のご事情がある中で、集まることが難しい現状ですが、お迎え時に職員を仲立ちに保護者の方々がお話される場の提供は行っています。お互いの子どもの事を知る機会となればと思います。11月24日に保護者交流会を開催する予定です。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	窓口や委員会を設置し体制を整えております。保護者の方との日々のやり取りを深め、ご要望を伝えやすい関係作りに努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	会報等定期的に発行しておりませんが、長期休みは予定表で活動内容をお知らせし、個別の連絡帳に写真を掲載し、活動の様子がわかりやすくお伝えできるよう努めています。	こども、保護者の方が安心してご利用していただけるよう、活動内容のお知らせの方法の検討を行っていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いには十分注意し、必要な場合は保護者の方の承諾のもと使用しております。書類は鍵をかけて保管しております。写真掲載に関しては同意書に基づき対応しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	ひとりひとりの状況に合わせた方法で意思疎通を図り、支援に努めています。学校、専門機関の助言をもとに、必要時にはコミュニケーションツールを使用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	夏休み等長期休みに、放課後児童クラブや保育園など地域の方との交流を予定しています。他事業所との交流は行っています。	慣れない環境で過ごすことが難しいこどもなど、ひとりひとりの状況に応じた方法を考慮し、交流の場を持つことに努めています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	法人全体で作成しています。閲覧できるように玄関にファイルを置いています。計画に基づき避難訓練を行い、記録しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	現在、策定に向けての内容を委員会で検討中です。避難訓練計画に基づき予定を組んで実施しています。	引き続き、訓練を通して職員が適切な対応ができるよう努めます

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	医師の指示書に基づき対応させていただいております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	現在、対象者はおられません。	必要に応じて医師の指示書や保護者の方からの情報に基づき、対応を検討いたします。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	法人内で委員会を設置しマニュアルを検討、作成しています。計画に基づき避難訓練、AED講習会、月1回の安全点検を行っております。	引き続き、訓練を通して職員が適切な対応ができるよう努めます
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	緊急連絡先の確認、警報発令時の対応について保護者の方とお話しさせていただいています。	引き続き、マニュアルの閲覧を通して保護者の方への周知に努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットの事例は、ミーティングで報告し、記録に残し職員間で情報共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	法人内で虐待防止委員会を設置し、全体研修の場を設け、参加しています。グループワーク等で学んだ事を意識し、適切な支援を心がけています。	引き続き、学びの中で支援の振り返りを行い、職員の資質向上に努めています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	個別支援計画に明記し、ご確認後に同意をいただいております。職員の対応については、実施した場合に保護者の方に状況を報告し、記録に残すことになっています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児デイサービスセンター あゆみの里			
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 10月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	15名
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日 ~ 令和7年 10月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 23日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの様子に応じた個別活動と集団活動ができる	その日の子どもの様子によって過ごす場所を決めています（広いホール、個室、庭など）。休息が必要な子どもは横になる事ができる空間があり、活動と休息のバランスをとることで、活動に参加しやすくなっています。子どもが安心して過ごせる場を提供するために、人的・物的環境を整えることに努めています。手話通訳士がおりますので、コミュニケーションのサポートができます。	個室で個別課題に集中して取り組む、戸外で友だちとかかわりながら体を動かし発散するなどそれぞれの課題に応じた支援を行っていますが、周知に至らないことがありますので、個別支援計画に明記するだけでなく、保護者の方へわかりやすく目的などを説明させていただきます。
2	大きなプールや建物続きの広い庭、食堂（調理器具完備）がある。	長期休みは食への興味へつなげる目的で調理実習を行い、芝生の広い庭でボール遊びや虫捕り、プール遊びなど身体を動かす活動ができます。戸外、室内と分かれて過ごすことで少人数で落ち着いて遊ぶことができます。	子どもの様子に応じた活動内容を考え、広いスペースを利用し安心して過ごせる場所作りに引き続き努めます。
3	益田養護学校と隣接（友だちと一緒に徒歩下校する）	学校と敷地がつながっているので、道路に出ることなく徒歩で下校する事ができます。車での登下校が主となっている子どもにとっては、友だちとカバンを持って下校する経験の場の提供は大切な事だと考えています。安全面に配慮しサポートしています。学校と合同避難訓練を実施し、連携をとっています。	立地条件を活かし、学校と情報共有を引き続き行う事に努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	交流行事の実施 ・地域の子どもや兄弟（姉妹）、保護者間交流など	慣れない人、場所で過ごすことが難しいなど子どもたちの状況、それぞれのご家庭のご事情など、みなさまに喜んでいただける参加方法を考えることに苦慮している。	交流の場で子どもたちが不安を感じることのない参加の仕方を検討し、周りの方のご理解のもと、地域の方やご家族と触れあう経験ができるよう努めています。子育てについての話や研修会など保護者の方に少しでも安心していただけるきっかけ作りをおこなっていきます。
2	送迎範囲が限られている	1対1対応が必要な児童が増えている現状から、送迎の人員確保に苦慮している。	児童の安心・安全を最優先に考えながら、できる範囲で保護者のご要望に応えるよう努めています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

障がい児デイサービスセンター あゆみの里

公表日 令和7年11月7日

利用児童数 令和7年10月1日19名 (18世帯)

回収数 15

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14			1		引き続き、ひとりひとりの様子に応じて、安心して過ごせる場所の提供を行います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	3	1	3		配置基準は満たし、常勤、非常勤職員で体制を組んでいます。引き続き、安定した人員配置を継続できるよう努めます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14			1		居室は段差のないバリアフリーの構造になっています。刺激になるものが目に触れないような環境作りに努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1				引き続き、毎日の清掃を継続し清潔で快適な生活空間を提供できるよう努めます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1			ある程度は理解してもらっているが、充分かどうかはわからない。	引き続き、研修に参加し職員のスキルアップを図り、安心していただけるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14			1		支援プログラムを基本にひとりひとりの様子に応じた個別支援計画を作成し、支援を行なうよう努めます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1				引き続き、保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、支援目標について共通理解に努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1		1		放課後等デイサービスガイドラインに則した項目で計画を作成しています。ひとりひとりのニーズ、課題を分析し具体的な支援方法の記述に努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					日々の様子を記録し、記録に基づき職員間で話し合い、目標設定を行い計画作成をしています。引き続き、個別支援計画に沿った支援に努めます。

保護者への説明等	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	2				引き続き、子どもたちがさまざまな経験を通して持てる力を引き出す支援を行います。随時職員間で話し合い、子どもたちの姿に合ったプログラムを考えていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1	3	2	あまりない。少ない気がします。	慣れない環境で過ごすことが難しいなどひとりひとりの状況を考慮し、学校休業日に事業所間交流をし、今後も続けていく予定です。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1				引き続き、支援内容や利用者負担額について具体的にわかりやすい説明を心掛けていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					引き続き説明させていただいた後にご署名をいただくようお願いします。随時ご相談を受けております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	4	4		集団では実施しておりませんが、お迎え時または電話等で、ご家庭でできる事をお話し下さい。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	13	1	1			連絡帳、お迎え時に困りごとのご相談、ご要望などやり取りをさせていただいています。お電話も受け付けておりますので、ご相談いただきますようお願いします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2	1		定期的面談はないが、助言はその都度いただいている。	引き続き個別支援会議の場以外でも、必要と思われる時にご相談を受け付け、面談の機会を設けてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	3			そう思う事業所と思えない事業所がある。	引き続き子どもたち、ご家族の方に寄り添った支援に努めます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	5	4		集団で過ごすことが難しい子どもたちにとって、イベントが安心できる場とは限らないこともあります、当事業所では個別対応をいたしております。きょうだいの困りごとなどいつでもご相談に応じます。11月24日に保護者交流会を開催します。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1	1	2		ご要望に応じて電話、面談、連絡帳にて対応させていただいております。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2			体制は用意されていると思うが、意思疎通や情報伝達が十分にできているとは思えないことが事業所によってはある。	引き続き、ひとりひとりの様子に応じた方法で意思疎通を図り、支援を行うよう努めます。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	6	1	3		ホームページで公表させていただいております。必要時には立て看板（玄関）に掲示させていただいております。ご覧ください。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	2				引き続き、個人情報の取り扱いは慎重に行なっています。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		2		マニュアルを作成しておりますが、保護者の方への周知については行き届かない面があります。マニュアルの掲示など周知を図るよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	2		2		法人全体、放課後等デイサービスで計画に沿って定期的に行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		2		計画書の掲示など周知を図り、安心していただけるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		3		非常時対応のマニュアルに従い対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1			安心できる落ち着ける空間を作っていただき助かります。	引き続き、子ども、保護者の方に安心していただけるよう、職員全員で努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2			・事業所によっては活動内容が合わず、行き渋りがある。 ・利用日数は少ないですが、期間があいても楽しく通えています。	見通しを持ち、安心して過ごせる場所となるよう人的・物的環境を整えるよう引き続き努めます。活動内容の検討を行います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1				